

一般財団法人未来医療推進機構 設立趣意書

我が国においては、健康長寿社会の実現が急務とされており、これに伴い医療に対するニーズも変化している。このような中、再生医療をはじめとした、次の時代に実現すべき新たな医療を「未来医療」として、これを実用化・産業化のステージへと早期に移行させることが求められている。

大阪・関西には、大阪大学、京都大学、理化学研究所をはじめとしたライフサイエンス分野における世界的な大学・研究機関とともに、開発力に優れた製薬企業や高い技術力を持つものづくり企業が多数集積している。

このポテンシャルを活かし、行政・経済の中核機能や文化・学術施設が高度に集積する良好な都市環境を有するエリアである大阪・中之島に、未来医療の「創造」、「実践」、「共有」を目的とする「未来医療国際拠点」を形成する。

当機構は、この「未来医療国際拠点」をオーガナイズし、その目的に資する事業を行う組織として、志ある民間企業等と大阪府により設立するものである。民間企業等から選出された理事により構成される理事会が機構運営を中心的に担い、産業化を強力に推し進めるとともに、産学官等から選出された評議員により構成される評議員会が、その任務を果たし公益性を担保することで、広く国内外の研究機関・拠点と連携し、オールジャパン体制で未来医療の実用化・産業化とその提供による国際貢献の推進をめざすことで、患者、社会へも貢献していく。

2019年8月30日

設立者(22者) 一同

(2019年11月22日設立)

一般財団法人未来医療推進機構

理事長 渡邊 眞一郎